

●事業内容

1. たたら製鉄の歴史と技術を保存、公開、実践することで日本の鉄文化を保護継承していく活動  
(公益目的事業)

1) 講演会の実施

鉄の歴史文化、歴史資料の研究結果公開のため、次の事業を実施した。

①鉄の歴史村フォーラム 2019

テーマ： たたら製鉄の新地平 たたら製鉄のゆくえ

期 日： 令和元年 12月 7日 (土)

場 所： 吉田健康福祉センター2階 (雲南市吉田町)

内 容： 基調講演、ディスカッション

講 師： 児玉泰州 (島根県鐵工会理事長)

水口拓寿 (武蔵大学誉教授)

参加者： 54名

参加料： 800円

②博物館講座

目 的： たたら文化に対する興味・関心を把握するため、座談会形式でさまざまなたたらに関する話題を拾い上げ、たたらの活動の可能性を探る。

内 容： 第1回「なにをする？TATARA部」

日時； 4月 14日 (日) 13:00~15:00

場所；鉄の歴史博物館創作館

第2回「どこいく？TATARA探検隊①」

日時； 4月 21日 (日) 10:00~

場所；雲南市大東町上久野大林

第3回「なにになに？TATARA研究会①」

日時； 5月 21日 (日) 13:00~15:00

場所；雲南市木次町 八日市交流センター

第4回「どこいく？TATARA探検隊②」

日時； 6月 3日 (月) 9:00~16:00

場所；鳥取県日野郡日野町根雨

第5回「なにになに？TATARA研究会②」

日時； 7月 14日 (日) 13:00~15:00

場所；雲南市掛合町 掛合まめなかセンター

第6回「どこいく？TATARA探検隊③」

日時； 8月 5日 (月) 10:00~13:00

場所；古代出雲歴史博物館

第7回「つくるぞ！まるごとたたら博物館」

日時； 11月 16日 (土) 10:00~16:00

場所；鉄の未来科学館

第8回「鉄の歴史村フォーラム発表」

日時； 12月 7日 (土)

場所；雲南市吉田町 吉田健康福祉センター

第9回「菅谷たたら山内に生息するオオサンショウウオの保護活動」

日時； 2月 1日 (土)

場所；雲南市吉田町 菅谷たたら山内、雨谷地区

第10回「なにになに？TATARA研究会③」

日時； 2月 9日 (日) 13:00~15:00

場所；鉄の歴史博物館

## 2) 体験事業

鉄文化を育んだ地域を知り、後世に伝承する人材を育成するため、次の事業を実施した。

### ①ものづくり大学

#### 1. たたら操業体験の実施

場 所： 和鋼生産研究開発施設  
実施日： 4月21日(日)～25日(木)  
10月2日(水)～6日(日)  
12月11日(水)～15日(日)  
参加者： 54名

#### 2. 小たたら操業体験

場 所： 和鋼生産研究開発施設  
期 間： 令和元年10月～11月  
参加者： 3組 43名

#### 3. 鍛冶体験

##### ア) 五寸釘のペーパーナイフづくり体験

場 所： たたら鍛冶工房  
期 間： 平成31年4月～令和2年3月  
参加者： 186名  
体験料： 800円、1,000円、2,000円

##### イ) 出張鍛冶体験

実施しなかった。

### ②鉄・体感イベント

#### ア) 神楽で芽吹き

目的；菅谷たたら山内において、歴史、食、自然に関する菅谷たたら山内の魅力を体感し、日本の鉄のふるさととして再発見するための誘客イベント。

期日；4月14日(日)

場所；雲南市吉田町 菅谷たたら山内・元小屋

内容；たたら製鉄にまつわる地元の神楽を、重要有形民俗文化財である菅谷たたら山内・元小屋で上演し、たたら製鉄文化の発信を行った。地元農事組合法人の協力を得て、産直産品を使用した食も提供した。

#### イ) 情報発信

Facebook、ホームページでの情報発信

展示公開移設におけるインターメディアシステムによる施設周辺案内

関連施設、集客施設等への情報提供・共有

## 3) 公開展示施設の運営と活用

公開展示施設の管理運営と同施設における企画展を実施した。

### ①企画展の実施

#### ア) 雲南市吉田町の民俗芸能

場 所： 鉄の歴史博物館

期 日： 令和元年7月21日(日)～

内 容： 雲南市吉田町域で伝承される、たたら製鉄に関連のある民俗芸能(神楽・山伏踊りなど)の衣装・道具類・史料を地域住民とともに展示・紹介した。

#### イ) 第1回雲南市まるごとたたら博物館

場 所： 鉄の未来科学館

期 日： 11月7日(金)～

内 容： TATARA部の一環として、くにびき学園の卒業発表や雲南市吉田町大吉田自治会所蔵・近代木炭生産関連資料、同梅木・杉戸地区における泥天神の習俗など

を紹介した。

②調査事業

ア) 菅谷たたら山内総合文化調査

菅谷たたら山内に現存する多種多様な山内遺産を、歴史遺産・生活遺産・集落遺産という遺産群として設定し、歴史文化を明確化するために現地調査を行うことによって、鉄文化に関する学術研究を進め、今後の公開展示施設の管理運営に役立てる。

イ) 雲南市吉田町の民俗芸能調査

雲南市吉田町の鍛冶屋唄やたたら唄、山伏踊りなど個々に現存する民俗芸能について調査・把握し、公開展示施設の運営に役立てる。

ウ) 菅谷たたら山内に生息するオオサンショウウオの保護活動

日本列島以西のたたら場ではオオサンショウウオが多く分布しているが、近年、その生息環境の変化が懸念される。オオサンショウウオに関する調査や勉強会を実施し、保護活動を推進するとともに、公開展示施設における展示に役立てる。

③委託管理業務

ア) 菅谷たたら山内及び周辺施設

イ) 鉄の歴史博物館

ウ) 鉄の未来科学館

エ) 地域特産品処理加工施設

2. 博物館等公開展示施設における商品の販売（収益事業）

1) オリジナル商品の開発、販売

ア) 和鋼商品（ストラップ、鋳ちゃん、鋳ボトル）

イ) 「菅谷たたらとカツラの木」商品（ポストカード、クリアファイル、小風呂敷）

2) 委託商品販売

ア) 刃物

イ) 土産物

ウ) 書籍

3. 管理部門

1) 賛助会員の確保と普及活動

ア) 来館者、体験事業・フォーラム参加者等への働きかけ

イ) ホームページ、賛助会紙での事業のPR

ウ) 賛助会紙「たたら山だより」の発行

2) 理事会の開催

3) 評議員会の開催

